

いつも市民の目線で!!

“山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

山崎 きくお



平成19年11月号 (第53号)

なぜこの時期に

「人権条例」なのか

いま市では、十二月定例市議会に向けて「人権尊重のまちづくり条例案」の準備を進めています。

しかし、これに対して多くの市民の皆さんから「なぜこの時期に人権条例の制定が必要なのか」という疑問が提起されています。

市に説明責任あり

これに対して市は、今のところ「条例化の必要性」について明確な説明をしていません。

市は、市民に対して「なぜ今、人権条例を制定する必要があるのか」を明確に示す責任があります。

まだ「市民憲章」あり

寝屋川市では、昭和四八年五月三日に『寝屋川市民

憲章』を制定し、「わたしたちは、お互いの人権を尊重し、よく話しあい、理解しあい、譲りあつてうるおいのあるまちづくりにつとめます」と定めています。

また、昭和五八年十月五日に『人権擁護都市宣言』をして、改めて基本的人権の大切さを認識し、それを擁護していく活動を進めることを確認し、人権尊重と自由・平和を守り、明るく住みよい寝屋川市を実現することを宣言しています。

第23回 山さんのミニ市政報告会

○とき 11月24日(土) 午後7時30分～
○ところ 池田南町公民館

◎どなたでもお気軽にご参加ください!

山さんのプロフィール



姓 名 山崎 菊雄 (やまさき きくお)
昭和24年 富山県氷見市に生れる
昭和47年～ 寝屋川市に在住
昭和48年 関西大学法学部卒業
元・守口市役所職員
元・若葉町自治会長
元・池田校区福祉委員長
元・二中地区社明委員長
平成15年 寝屋川市議会議員に初当選 (現在2期目)
現 在 市民派「新しい風」議員団代表
建設水道常任委員会委員
枚方寝屋川消防組合議会議員

寝屋川市の議会改革

3月までに結論が出るか

いま市議会では、各党派の代表(市民派を除く)が集まって、議会改革について様々な検討が進められています。

ではどうか。
③議会のテレビ中継やインターネット中継などをつから、どう実施するか。
④土曜・日曜などの休日議会や夜間議会など「市民に開かれた議会」をどう実現するか。

① 議員定数の削減は、いつまでに、どうするか。

⑤ 政務調査費の使途基準の明確化と領収書の添付、市民への公開をどうするか。

② 議員報酬の削減について
※私ども市民派議員団は、以前から「4人削減」を提案しています。

など

所管事項質問の内容 (No.2)

九月二二日、建設水道常任委員会協議会が開かれ、所管する事項全般についての質問が行なわれました。

以下は、前月号につづき私の質問の内容です。

二・街づくりについて

【山さんの質問⑥】
街づくりにおける自治会の役割をどう考えているか。

【理事者答弁】

今後、カーブミラーや道路標識等の設置については、住民から直接要望があった場合でも、自治会長等と連絡を密にして、適切に処理をしていきたいと考えております。

【山さんの質問⑦】

二〇一一年から全て地上デジタル放送に変わるが、公共建物に係る電波障害対策をどのように考えているか。
【理事者答弁】

公共施設における共同受信施設については、現在総務省と国土交通省との見解が異なっていることから、今後国の動きに注視しながら適切に対応したいと考えております。

【山さんの質問⑧】

ポリボックスは、安心安全な街づくりの観点から市民生活には重要な存在であるが、香里園駅東口のポリボックスについて、再開発事業との関連で移転を検討しているのか。



市民の皆さんの声を
議会で質問するのも
議員の大切な仕事です

【理事者答弁】

所轄である寝屋川警察署と移転についての協議を行って

いますが、パトカーの駐車場の確保の観点から、現時点では移転は難しい状況にあります。

三・水道行政について

【山さんの質問⑨】

水道事業の水あまり現象が続く中で、香里浄水場の廃止問題について現状はどうなっているか。

【理事者答弁】

本市では水需要の減少が続く中で、現在、香里浄水場を廃止する方向で、停止の時期等について具体的な検討を進めているところです。

【山さんの質問⑩】

水道事業の広域化の検討については、どのようなようになっていくか。

【理事者答弁】

水道事業の広域化については、「市町村水道の統合」と「府営との統合」についての二方向から関係団体と検討を進めておりますが、あまり進んでいないのが現状です。

★山さんのコラム

PPKを知りませんか

先日、ある方から「山さん、PPKを知ってる？」と尋ねられた。昔から英語が苦手な私には「PPK」が何の略語なのか見当もつかない。私が首を横に振ると、彼女は次のとおり説明してくれた。

人生の最も理想的な生き方は「PPK」だそうである。すなわち「毎日健康でピンピン生活し、ある日突然コロリと死ぬ。これが最も理想的な生き方(死に方?)」なのだそうである。なるほど「ピン・ピン・コロリ」＝「PPK」。ようやく理解ができた次第である。

年若い寝込んだり、あるいは認知症になって、家族に迷惑をかけたくない。また病院や老人施設で死んでいくのも寂しい。できれば、自宅である日突然、眠るように死んで行けたら最高である。ふと、自分のあまり遠くない将来を考えた次第である。